

変わり

千の姿 万の形

「雛百種」

雛展

釜です！

雛です！

鍋です！

1階



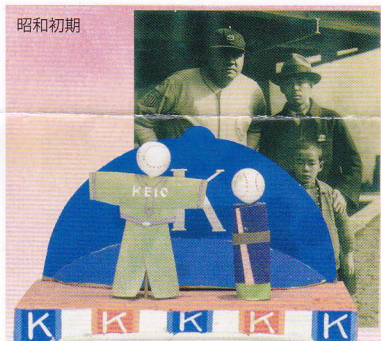
銀鶏雛 銀鶏作（掲載 明治期）

“変身した雛が…懐かしい日本を語る”

江戸期の代表的な変わり雛は、文人銀鶏によるアバンギャルドな銀鶏雛。開けて明治、新政府の古き伝統・習俗の排除で雛文化は一時衰退。中期以降は大きく盛り返し、新興の富裕層・中間層を巻き込み大衆化、一大市場に。そこには呉服屋からデパート化した三越百貨店のしかけがあった。更に好事家向け、大人

向けの趣味性の高い変わり雛が次々に登場しユニークな雛文化が育成された。大正期には巖谷小波考案の「桃太郎雛」がブームに。更に昭和にかけ、世相を反映した変わり雛が登場する。千の姿、万の形。先人のセンスがいぶし銀のように光る変り雛を雛舞台にズラリ！

昭和初期



① 慶応大学野球部雛とベイブルースの写真
顔がボールの雛。昭和初期は大学野球が大人気。早慶戦の火花が散りました。昭和9年には、ベープ・ルースが来日、写真は日本人のファンとの記念写真。昭和11年にはプロ野球が誕生しました。

昭和初期



② 将棋雛 雛壇は将棋盤
庶民の娯楽を支えてきた将棋。古くは奈良時代に遡ります。坂田三吉、大山康雄などの名人も懐かしい。羽生善治に続き、16歳の若き天才藤井聡太が最年少で100勝達成。大きなブームを巻き起こしています。

昭和初期



③ 満州雛と満州国旗を持つ満州人絵ハガキ
昭和7年から敗戦の昭和20年まで日本の外地領土であった満州。日本の国土の1.7倍、豊富な資源に恵まれていました。満州と日本の国旗をデザインした立雛、歴史を語ります。

昭和30年代



④ 皇太子(今上天皇)と美智子さまのテニス雛
テニスが結んだ世紀の恋。庶民から皇太子妃になられた美智子さま。ミッチーブームが起こりました。2019年4月30日に退位され平成が終わります。

昭和初期



⑤ 桃太郎と鬼のラグビー雛
日本初のラグビーワールドカップが2019年9月にキックオフ。いち早く桃太郎が出場意欲満々。桃太郎の物語は室町・江戸に誕生。

大正期頃



⑥ お勝手雛 三越製
お勝手道具のお玉とお杓文字の本物を使ってお雛さまに変身。しかも飾台は鍋蓋を使ったこだわりよう。

三越ラベル
「金貳圓貳拾五銭」



今古雛



御殿飾雛



源氏桢飾り



立雛



イエス雛 ガラス製電飾雛セット



明治天皇雛

京都嵯峨野 思い出博物館

愛された人形… 愛した人形… 愛の数ほど人形が生まれた

アイドル

江戸から平成。時代と共に姿を変える人形たち。
ひとコマごと繰り上げられる女性人形劇場。

紙着せかえ人形で見る女性ファッション

2階

明治期の洋装ファッション人形
憧れのドレスに身を包んだ洋装人形。
市松顔に豪華なフリルとレース、流行
の帽子がときめきます。



華宵風モダン人形 大正・昭和
日本の洋装ファッションの開拓者
高島華宵。流行歌にも歌われた。



小林かいち人形 昭和初期
木版で絵葉書にアールデコ調の
新しい文化を起こした。



マンドリン弾きと踊るモダン人形
アールデコの魅力であふれる。昭和初期



江戸の紙着せかえ人形

江戸の紙着せかえの主流は、髪型を代えるかつら替。
上のように着物の着せ替えは大変珍しい。



洋装ファッションの始まりを語る… 紙着せかえ人形

- ①小学教育の紙着せかえ 明治6年頃 文部省製
明治の子供が誰よりもいち早く知った洋装の世界
- ②パスルスタイルの紙着せかえ 明治20年頃
鹿鳴館でのパーティー用衣装
日本最初の洋装ファッション流行第一号
- ③紙着せかえ 明治42年
明治の女学生のシンボルとなった袴。通学・運動に自由自在

MADE IN
OCCUPIED
JAPAN



オキユバイド・ジャパン陶器人形
終戦後、占領軍の許可を得て輸出された商
品。この明るさ可愛らしさに平和を知る。



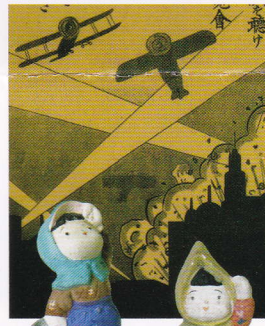
きんさんぎんさん人形 平成2年(1990)
世界的な長寿国日本。それを象徴する元
気な100歳の双子姉妹が、大ブームとなった。



Oh! モーレツ 昭和44年(1969)
仕事に、勉強に、遊びに。日本は高度経済
成長と共にモーレツ時代へ。丸善石油広告。



空襲の中、消火バケツを持つ少女と
メガホンを持つ少女 戦中
こんな状況でも人形が愛されていた。



シャーリーテンプル 昭和初期
アメリカの天才子役

1935年映画「可愛いマーカちゃん」上
映。戦前のプロマイド人気No.1と伝え
られる。歌って踊る子役がブームに。



文化人形
大正期の流行語「文化」から
生まれた文化人形



変わり雛 & アイドール展

開館日 2019 3月1日(金)～4月7日(日)の金・土・日・祝日 午前11時～午後5時

京都嵯峨野 思い出博物館 〒616-8426 京都市右京区嵯峨二尊院門前住生院町 6-5

入館料 大人 500 円 高中小学生 200 円 TEL 075-862-0124 (開館中) 携帯 080-1461-9461



このチラシをご持参の方は入館料を 20% 割引